

# 令和6年度における本協議会の活動報告

---



水防災意識社会  
再構築ビジョン

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ 行政ワーキンググループの開催

実施内容

- 行政ワーキンググループ（京都府域）をWEB方式で開催しました。
- 令和5年度の活動内容や取組状況を共有するとともに、各機関からの情報提供を行いました。
- 令和6年度の重点取組を「要配慮者利用施設における避難訓練の実施」とすることで認識共有を図りました。

会議名	開催場所	開催日
行政ワーキンググループ（京都府域）	WEB	令和6年6月4日（火）

### ◆ 議題

- (1) 淀川管内水害に強い地域づくり協議会
  - 1) 規約の改正
  - 2) 協議会の概要
  - 3) 令和5年度の活動報告
  - 4) 減災に向けた取組状況の共有
- (2) 令和6年度の取組予定
  - 1) 情報提供
    - ① 国交省からの情報提供
    - ② 京都府からの情報提供
    - ③ 気象台からの情報提供
    - ④ 事務局からのお知らせ
  - 2) 今年度の重点取組（案）
    - ・ 要配慮者利用施設における避難訓練の実施
- (3) 意見交換
  - ・ 連携内容（支援）の紹介
- (4) その他
- (5) 今後の予定

The image displays several screenshots from the administrative working group meeting. On the left, there are PDF documents with Japanese text, including one titled '淀川管内水害に強い地域づくり協議会について' and another about '木津川市の取組状況について'. In the center, a video recording shows a man speaking, likely a participant or organizer. On the right, there are more PDF documents, one titled '線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報の改善)'. The documents contain detailed reports and information related to flood prevention and disaster response in the Kyoto region.

### 主な質問・意見

- 自主防災組織に関して、危機管理課が事務局として個々の団体と連絡を取っているが団体数が増えると限界がある。対応に成功している市町村は無いのか？
- 防災士や防災リーダーを養成し、自主防災組織のとりまとめに積極的に協力頂ける方の登録をお願いしている。

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ 首長会議の開催

実施内容

- 首長会議(京都府域)を長岡京市中央生涯学習センターで開催しました。
- 災害教訓の周知、普及の取組として各市町村の自然災害伝承碑について情報共有を行いました。
- タイムラインの作成や地域防災力の向上に関する取組など、地域性を考慮した取組に関する意見交換を実施しました。

会議名	開催場所	開催日
首長会議 (京都府域)	長岡京市 中央生涯学習センター	令和6年6月14日(金)

### ◆ 議題

- (1) 規約改正・協議会概要・令和5年度の活動報告
- (2) 令和6年度の取組予定
- (3) 災害教訓の周知・普及の取組紹介
- (4) 意見交換
- (5) 今後の予定



### 意見交換

※首長様のご発言

- ・昨年度からワンコイン浸水センサを導入しており、今後さらに増やしていきたい。(南丹市)
- ・京都府下で26基の自然災害伝承碑を登録しているが、そのうち4基が木津川市にある。自然災害伝承碑の意義や災害教訓を後世に伝えていくことの重要性を再認識した。(木津川市)
- ・5月から情報系防災行政無線の運用を開始しており、総合防災訓練等で活用していきたい。(井手町)
- ・本町戦後最大の被害をもたらした南山城水害から70年を契機とし、地域住民の防災意識の高揚、自主的防災活動に繋がればという思いから今回、自然災害伝承碑を登録する運びとなった。(宇治田原町)
- ・昨年8月に自主防災組織が町内で初めて発足したことから、共催で訓練を実施した。(笠置町)
- ・昭和28年の南山城水害により、40m級の橋を架け替えたがすべて更新時期を迎えている。土木技術者も不足しており、自力で架け替えようと試みるが中々進まない。(和東町)
- ・災害時の住民との連携には相互の意思疎通が必要であり、確実に情報伝達ができるように、防災行政無線の設置や多言語で発信できる登録型のメール、LINEによる情報提供等を実施している。(精華町)



西村南丹市長 谷口木津川市長 西島井手町長 西谷宇治田原町長 山本笠置町長 馬場和東町長 杉浦精華町長 淀川河川事務所長

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ブロック別会議の開催

実施内容

- ブロック別会議を桂川、宇治川、木津川中流、木津川下流の各ブロックで開催しました。
- 令和6年度のソフト対策の実施予定、連携内容について、情報・認識を共有したほか、流域タイムラインに関する意見交換を行いました。

会議名	開催場所	開催日
桂川ブロック	京都府公館	令和6年 9月13日(金)
宇治川ブロック	うじ安心館	令和6年 9月4日(水)
木津川 中流ブロック	木津川市役所 第2北別館	令和6年 9月9日(月)
木津川 下流ブロック	精華町立 図書館	令和6年 9月17日(火)

### ◆議題

1. 今年度のソフト対策の取組事項等の確認
  - (1)昨年度の実施・連携内容の振り返り(鉄道WGの連携内容を含む)
  - (2)今年度の取組事項及び支援希望内容の確認
2. 淀川水系流域タイムラインの更新について
  - (1)氾濫する可能性のある水位の更新
  - (2)流域タイムライン(R7年度運用版)の更新
3. その他
  - (1)災害対応事例集(素案)について
  - (2)R3年度住民意識調査アンケート結果報告、R6年度実施アンケート文案の提示
  - (3)今後の予定



桂川ブロック



宇治川ブロック



木津川中流ブロック



木津川下流ブロック

### 市町村からの主な支援要望 ※但しブロック別会議開催時

- ・勉強会・研修会の開催 - 住民(大山崎町、笠置町)
- ・勉強会・研修会の開催 - 自治体(笠置町)
- ・マイタイムラインの作成(城陽市、木津川市)
- ・コミュニティタイムラインの作成(宇治市)
- ・まるごとまちごとハザードマップの設置(宇治市、城陽市、長岡京市、京田辺市、久御山町、精華町)
- ・まるごとまちごとハザードマップの高度化(精華町)

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ 鉄道ワーキンググループの開催

実施内容

- 淀川管内水害に強い地域づくり協議会における鉄道ワーキンググループの位置づけ、設立以来の活動内容、昨年度以降の鉄道事業者による自治体支援内容を共有しました。
- 自治体からの支援要望を鉄道事業者に伝えるとともに、車両避難に必要となる情報の確認、鉄道事業者への情報提供方法について意見交換を行いました。

会議名	開催場所	開催時期
鉄道ワーキンググループ	WEB	令和7年 2月4日(火)



### 議論の概要

#### 【自治体からの支援要望対応】

・ハザードマップや防災アプリチラシの配架については、各鉄道事業者とも今後も協力に前向きであるとの回答を得た。また、JR西日本のPDPへの情報表示についても、非常時を除いて今後も対応可能であるとの回答を得た。

#### 【車両避難の実現に向けて】

- ・ 鉄道事業者の車両避難計画について、各社がフローや判断基準に基づいて対応した事例について共有した。
- ・ 淀川流域タイムラインに記載されているweb会議について、参加を希望する鉄道事業者は淀川河川事務所に連絡するよう依頼した。
- ・ 現状のタイムラインでは鉄道事業者欄が空欄となっているが、車両避難のリードタイムが分かれば追記可能であることを共有した。
- ・ 避難対策を立てる上で活用しているハザードマップについて、南海トラフ地震対策工事の結果を反映して更新作業中であり、見直し完了の時期が分かり次第、鉄道ワーキンググループ等で説明を行う旨を報告した。

# 1. 各種協議会の開催概要

## ■ 河川情報、河川氾濫リスクに係る研修会の開催

実施内容

- 淀川管内水害に強い地域づくり協議会の構成員を対象とし、「水害対応に備えた研修会」をWEB方式で開催しました。
- 研修内容は、1. 水位観測と洪水予報(情報発信)、2. 河川氾濫に備えた予測情報(検索方法)とし、情報の種類や検索方法を説明しました。

会議名	開催場所	開催時期
水害対応に備えた研修会	WEB	令和7年2月21日(金)

### 研修内容

#### 1. 水位観測と洪水予報(情報発信)

- (1) 水位観測所、危機管理型水位計について
- (2) 観測水位データの確認方法の紹介
- (3) 洪水予報と警戒レベルとの関係

#### 2. 河川氾濫に備えた予測情報(検索方法)

- (1) 河川の予測水位データ
- (2) 堤防が決壊した際の浸水リスク



### ③ 水位観測所における基準水位の概説

水位イメージ図

- 氾濫危険水位**
  - 川からいつ水があふれ出してもおかしな危険な状況を示す水位
  - 損害防止の発令判断の目安となる水位
- 氾濫判断水位**
  - 住民の避難判断の参考となる水位
  - 高齢者等避難の発令判断の目安となる水位
- 氾濫注意水位**
  - 住民に対して、氾濫に関する情報への注意喚起するための水位
  - 水防団が出勤に備え準備を行い、氾濫に対する注意喚起を行う水位
- 水防団待機水位**
  - 洪水による災害の発生を警戒するための水位
  - 水防団が出勤に備え、自宅等で準備を行う水位

### ③ 水害リスクラインによる危険度など情報の確認

4. 詳細図：画面右側の「情報」欄で危険度など情報が確認できる。

- ① 破堤点をONにすると、破堤点のアイコンが表示され、その地点で破堤した場合の想定浸水域が表示される。
- ② 距離標を表示できる
- ③ 洪水の危険度を確認できる。洪水の危険度は以下のとおり。
  - 統合危険度：現時点での危険度
  - 洪水の危険度レベル：6時間先までの予測危険度
  - 危険水位と河川水位の差
  - 危険水位までの到達時間
- ④ リアルタイムと履歴の切り替えができる。
- ⑤ 水系の危険度距離標一覧を表示できる。

### ④ 浸水ナビの操作方法3

⑥ アニメーションの「▶開始」をクリックすると時系列の浸水シミュレーションが表示される。

- 1 30分後
- 2 3時間後
- 3 12時間後
- 4 30時間後

## 2. まるごとまちごとハザードマップ

### ■まるごとまちごとハザードマップの設置状況

#### 実施内容

●公共施設(集会所、公園、学校等)の付近の電柱などに想定浸水深を示した看板を設置しました。



富野小学校付近の電柱(城陽市)



城陽市衛生センター(城陽市)



消防署付近の電柱(長岡京市)



自治会消防団倉庫付近の電柱(八幡市)



近鉄新田辺駅付近の電柱(京田辺市)



北川顔自治会 電柱(久御山町)



菱田集会所付近の電柱(精華町)

#### ◆令和6年度まるごとまちごとハザードマップの設置状況

市町村名		設置箇所
京都府域	城陽市	23
	長岡京市	21
	八幡市	1
	京田辺市	10
	久御山町	3
	精華町	3
合計		61

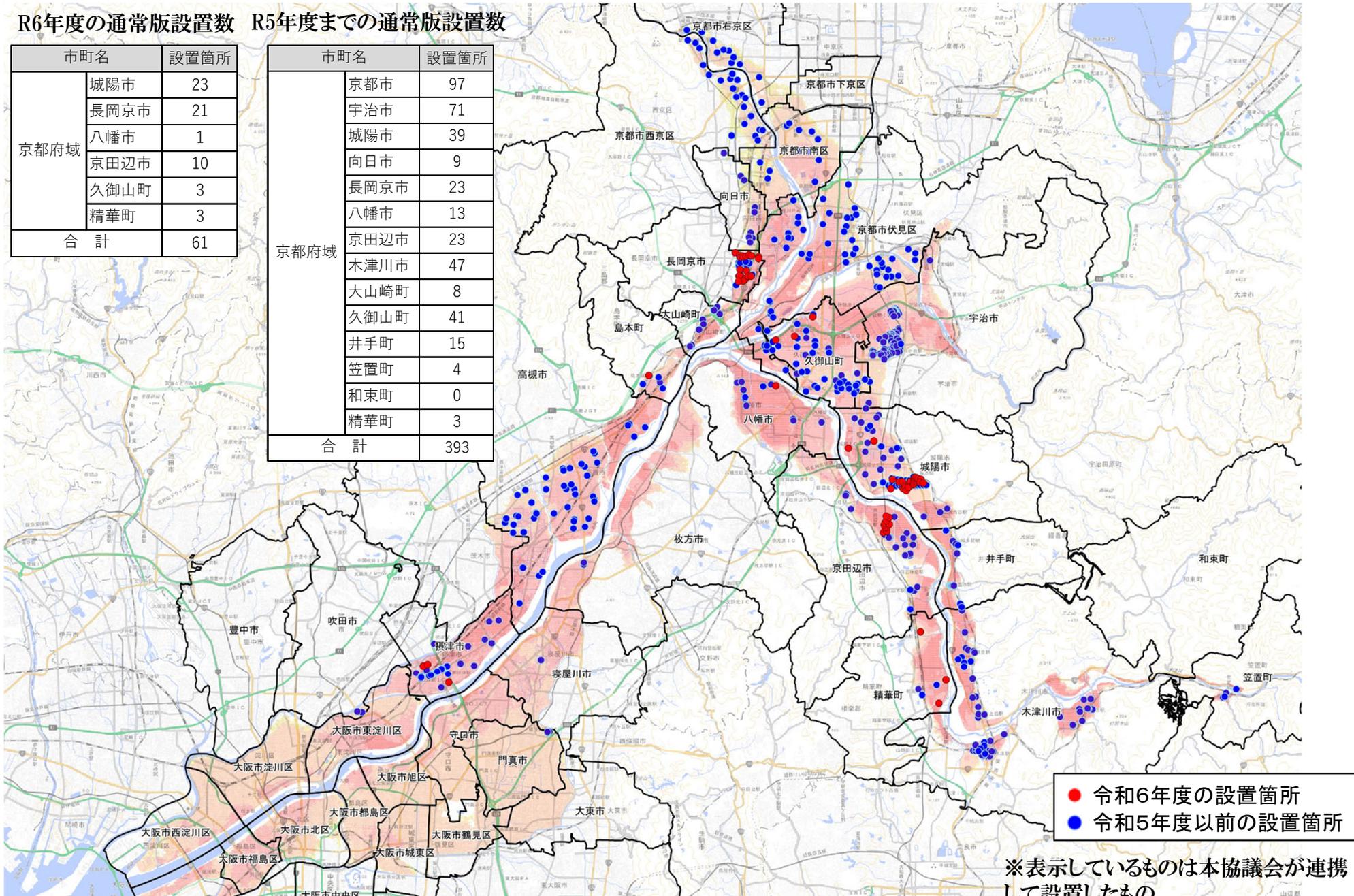
## 2. まるごとまちごとハザードマップ

### ■まるごとまちごとハザードマップ(通常版)の設置状況

R6年度の通常版設置数 R5年度までの通常版設置数

市町名	設置箇所
城陽市	23
長岡京市	21
八幡市	1
京田辺市	10
久御山町	3
精華町	3
合計	61

市町名	設置箇所
京都市	97
宇治市	71
城陽市	39
向日市	9
長岡京市	23
八幡市	13
京田辺市	23
木津川市	47
大山崎町	8
久御山町	41
井手町	15
笠置町	4
和束町	0
精華町	3
合計	393



● 令和6年度の設置箇所  
● 令和5年度以前の設置箇所

※表示しているものは本協議会が連携して設置したもの

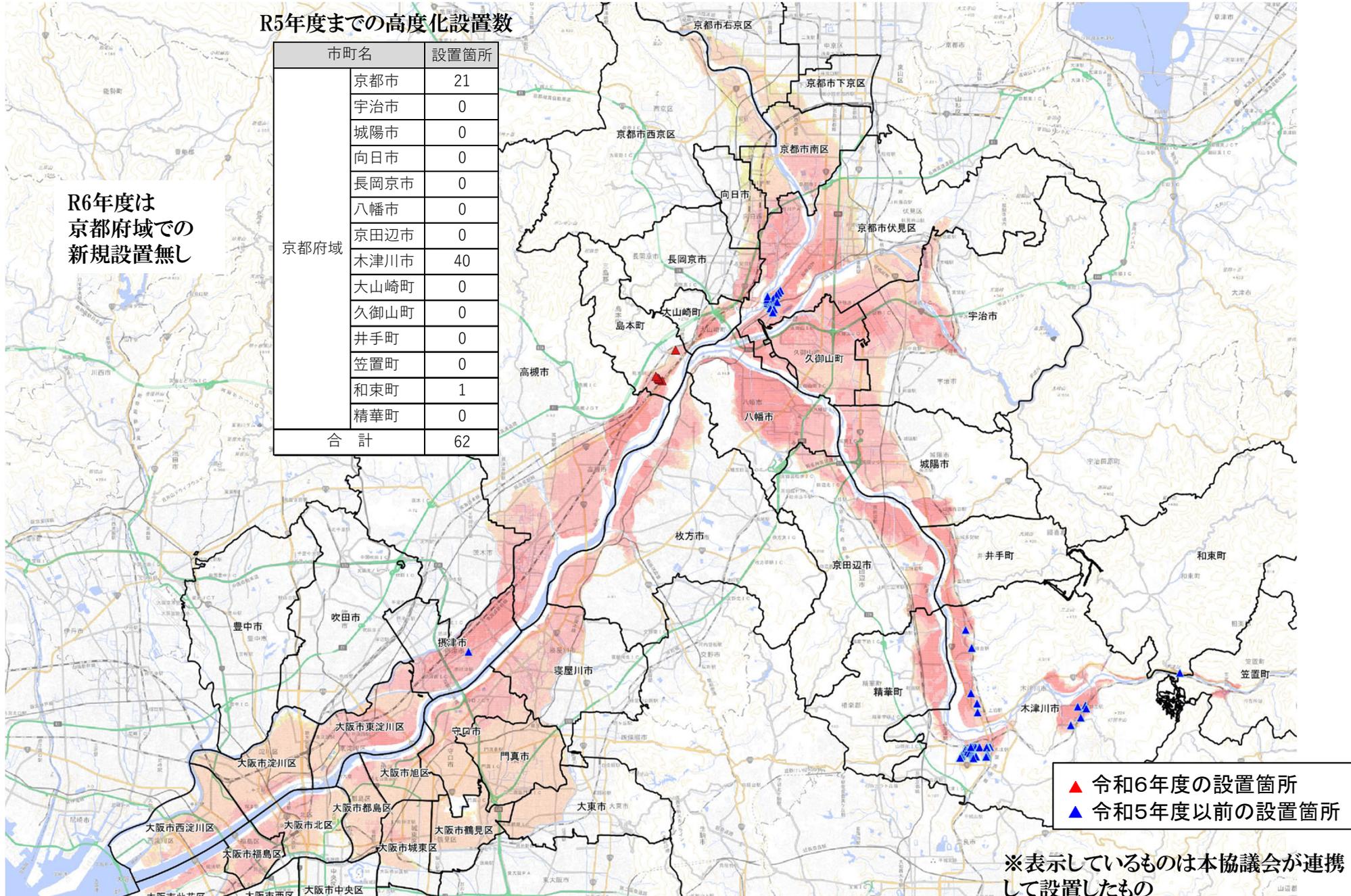
# 2. まるごとまちごとハザードマップ

## ■まるごとまちごとハザードマップ(高度化)の設置状況

R5年度までの高度化設置数

市町名	設置箇所
京都市	21
宇治市	0
城陽市	0
向日市	0
長岡京市	0
八幡市	0
京田辺市	0
木津川市	40
大山崎町	0
久御山町	0
井手町	0
笠置町	0
和束町	1
精華町	0
合計	62

R6年度は  
京都府域での  
新規設置無し



▲ 令和6年度の設置箇所  
▲ 令和5年度以前の設置箇所

※表示しているものは本協議会が連携して設置したもの

# 3. 住民参加型の研修会、勉強会の取組支援

## ■マイ・タイムラインの作成支援

実施内容

●水害や避難に関する基礎知識の向上を目的として、住民参加型の研修会や勉強会の支援を行いました。具体的には、ワークショップ形式でのマイ・タイムライン作成に向けた説明資料の作成や、住民等への資料説明などの運営補助を実施しました。

### 【ワークショップ一覧】

項目	研修会・勉強会名	支援概要
1.マイ・タイムラインの作成支援（城陽市）	地域防災リーダー研修会 「城陽市マイ・タイムラインの作成」	資料作成、 運営補助
2.マイ・タイムラインの作成支援（木津川市社会福祉協議会）	小地域ネットワーク研修会 「マイ・タイムラインの作成」	資料作成、 運営補助



城陽市ワークショップ(令和7年2月9日実施)



木津川市社会福祉協議会ワークショップ(令和7年3月2日実施)



### 【ワークショップ例】

**STEP①近年の気象傾向とマイ・タイムラインの紹介**  
近年の気象の傾向と水害事例/マイ・タイムラインとは/ マイ・タイムライン検討ツール『逃げキッド』の中身の確認

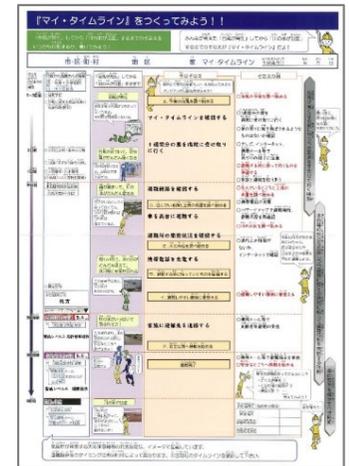
**STEP②地域の水害リスクの確認**  
淀川管内で起きた過去の風水害/水害の種類について/ハザードマップの見方/自宅の水害リスクと家庭の状況、避難先までの移手段・移動時間の記入

**STEP③災害情報と避難行動の確認**  
「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！  
備えを考えよう！！/避難するときのポイント

**STEP④マイ・タイムラインの作成**  
逃げキッド『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！の説明/  
マイ・タイムラインの作成



発表資料例:マイ・タイムラインの作成



使用したツール「逃げキッド」

# 3. 住民参加型の研修会、勉強会の取組支援

## ■コミュニティタイムラインの作成支援

実施内容

●水害や避難に関する基礎知識の向上を目的として、住民参加型の研修会や勉強会の支援を行いました。具体的には、ワークショップ形式でのコミュニティタイムライン作成に向けた説明資料の作成を行うとともに、住民等への資料説明や意見集約も含めた運営補助を実施しました。

### 【ワークショップ一覧】

項目	研修会・勉強会名	支援概要
1. コミュニティタイムラインの作成支援（宇治市）	コミュニティタイムラインの作成	資料作成、運営補助



### 【ワークショップ内容】

**STEP①近年の気象傾向と水害事例、コミュニティタイムラインの概説**  
近年の気象傾向と水害事例/コミュニティタイムラインとは/コミュニティタイムライン作成様式の説明

**STEP②地域の水害リスクの確認**  
水害の種類について/ハザードマップの見方

**STEP③災害情報と避難行動の確認**  
河川の水位を目安に行政から発令される情報/避難情報、河川水位・降雨情報と警戒レベルの関係

**STEP④コミュニティタイムラインの作成**  
いつ避難するべきか（スイッチ）の検討/どこへ避難するべきかの検討/役割分担の検討/コミュニティタイムラインの作成/災害・避難カードの作成

	気象情報 洪水予報の発表・分布 避難情報	雨量観測値 水防観測所 土壌雨量指数	前兆現象など
いつ スイッチ の 選手 難1	NHK防災情報 ・スマホ ・テレビのボタン 押し消しの音	危険管理に聞く	毎月車で 水が染み付いた時
	避難訓練 ・警報 ・高層ビル避難会		足音が ストップした時
いつ スイッチ の 選手 難2	避難訓練 ・避難情報		「わが ストップした時 宇治市の呼びかけ
	避難訓練 ・避難情報		避難訓練 ・避難情報

	避難先	移動の手段・時間	避難路の状況・注意点	どんな方がどんな時に
どこへ	【自主避難場所】 三ツアンドンク 自宅の2F又は3F	徒歩	隣りてあるの？ 避難路の状況・注意点	学校交際が出来る時に 一緒に逃げれる
	【指定緊急避難場所】 小倉小学校 一貫校に自家発電装置 体育館でなく所近くへ	徒歩	一人で逃げられない 人をどうするか	本人が仕事で留守を守る 高層ビル等
	【災害の避難場所】 いっそのことずっと遠くへ 三小学校教員待合所 津洲会 上へ3F 宇治川南側	車		

宇治市ワークショップ(令和7年2月11日実施)

出された意見についての集約結果

# 令和6年度における 市町村等の取組状況

---



水防災意識社会  
再構築ビジョン

# 目次

京都市（京都市総合防災訓練の実施）	13
宇治市（防災シンポジウムの開催、ワークショップの開催）	14
亀岡市（かめおか防災・安全安心フェスタ2024、亀岡市防災士養成事業の実施、かめおか防災士ネットワークとは）	15
城陽市（出前講座、防災学習会等を実施）	18
向日市（出前授業の実施）	19
長岡京市（ワンコイン浸水センサー実証実験、ハザードマップの更新時に「雨水出水（内水）浸水想定区域」を指定）	20
八幡市（トイレカーの導入、京都府警及び自衛隊ヘリコプターによる本庁舎屋上への離着陸訓練等、水害等避難行動タイムラインの作成）	22
京田辺市（まるごとまちごとハザードマップの設置、出前講座による防災意識の啓発・向上）	25
南丹市（タイムラインの作成講習）	27
木津川市（地域防災リーダーによるマイタイムラインの作成支援（指導）体制の構築）	30
大山崎町（令和6年度防災伝道師養成講座）	31
久御山町（まるごとまちごとハザードマップの作成、タイムラインの作成について）	32
井手町（井手町防災ハザードマップの更新）	34
宇治田原町（令和6年度の取組、令和7年度の取組）	35
笠置町（まるごとまちごとハザードマップの設置）	36
和東町（自主防災組織を対象とした研修会、和東町防災パトロール、地域防災計画の修正）	37
精華町（「マイ防災マップ」の作成、まるごとまちごとハザードマップ）	38
南山城村（各種イベントを通じた防災意識社会の醸成）	40

## ■京都市総合防災訓練の実施

活動報告

- 京都市地域防災計画の基本理念に基づき、防災関係機関と京都市との緊密な連携による総合防災訓練及び市民の防災意識向上を目指した啓発を実施した。(令和6年11月9日(土) 実施)
- 大規模災害対応訓練:防災関係機関と京都市が連携した災害対応訓練  
(被害情報収集・伝送訓練、救出救助訓練、ライフライン復旧訓練)  
市民防災啓発:ブース展示による防災啓発(防災気象情報展示、備蓄展示、起震車による地震体験等)

### ■訓練参加団体

京都市防災会議構成機関等

令和6年度の訓練参加者及び  
来場者:38機関/約4,000名



道路啓開訓練(建設局)



倒壊建物救出訓練(自衛隊)



消火・救出訓練(消防局)



応急給水訓練(上下水道局)



災害備蓄展示、アルファ化米炊き出し  
マイ・タイムラインの説明(行財政局)

## ■防災シンポジウムの開催

- 阪神・淡路大震災から30年が経過し、今一度防災への意識を高めるとともに、特に若年層に防災への関心を持ってもらうため、京都大学防災研究所の協力のもと、京都大学宇治キャンパスにて防災シンポジウムを開催した。
- 第1部の気候変動適応研究センター長による「気候変動がもたらす未来予測」と題した基調講演後、第2部は東宇治中学校1年生が、「私たちにできる防災・減災の提案」を発表。キャンパスのホールと東宇治中学校とをLive中継で繋ぎ、生徒による避難所設営、避難所体験訓練を実施した。
- 中学校の参観日と併せて実施したことで、保護者にも訓練へ参加いただき、防災への備えの意識付けを行うことができた。



防災シンポジウム

## ■ワークショップの開催

- 市内の浸水想定区域内の町内会・自治会を対象として、災害時地域タイムラインの作成支援を行った。
- 淀川河川事務所から講師を派遣していただき、西小倉連合町内会・小倉連合町内会で、ワークショップを開催しタイムラインを作成した。
- 黄檗台自治会のワークショップには、自主防災リーダーを派遣し、避難行動の意識付けや逃げ遅れ対策などについて啓発を行い、引き続きタイムラインの作成支援を実施していく。



ワークショップ

### 継続的な取組

- 防災訓練の実施(約1,000人が参加)
- 災害時地域タイムラインの作成支援(38団体)
- 防災学習(宇治学)への取組(延べ11回・約1,500人へのアプローチ)
- 防災出前講座(109回・約5,000人へのアプローチ)
- 自主防災組織への支援(自主防災組織育成事業補助金)

# 亀岡市の取組状況について(1/3)

## ■かめおか防災・安全安心フェスタ2024

活動報告

- 亀岡市では、隔年で実施している総合防災訓練の間の年に防災啓発事業を実施しています。令和6年度に実施した本事業は、各地域の自主防災会や防災協定締結機関を交えた住民参加型避難訓練及び防災展示や啓発などを行いました。
- 事業を実施した結果、想定参加者500名を上回る参加者が集まり、特に子ども連れの家族の来場者が多くみられ、課題の一つであった若年層を含めた幅広い年齢層に防災啓発を実施できました。

### かめおか防災・安全安心フェスタ2024

実施日	令和6年10月6日(日)
実施場所	亀岡運動公園
参加者	約1200名
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所開設訓練</li> <li>・シェイクアウト訓練</li> <li>・こども防災士養成講座</li> <li>・防災啓発・展示ブース</li> </ul>



## ■ 亀岡市防災士養成事業の実施

活動報告

- 亀岡市では、地域住民の先頭に立つ防災スキルを持った市民防災リーダーを養成するため、京都府内の自治体として初めて日本防災士機構から研修実施機関としての認証を取得し、市独自で防災士資格取得者を増加させる「亀岡市防災士養成事業」を令和4年度から実施しております。
- 事業を実施した結果、市内在住・在勤の防災士数について、事業実施前(令和6年2月末時点)の174名から事業実施後(令和7年2月末時点)の231名まで増加させることができました。

### 令和6年度亀岡市防災士養成事業

実施日	令和6年11月9日(土)・10日(日)
場 所	亀岡市役所 市民ホール
参加者	・64名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の防災士養成プログラムを実施(講義+演習 計9講目)</li> <li>・2日間のカリキュラム内で普通救命講習を実施</li> </ul>



講座の様子



普通救命講習の様子

## ■かめおか防災士ネットワークとは

活動報告

- かめおか防災士ネットワークは、亀岡市在住・在勤・在学の防災士を対象に、定期的なフォローアップや防災士資格者同士の交流のなどを目的としています。また、ネットワークに登録した防災士は、自主防災会や亀岡市が主催する防災訓練や研修会などへの参加・運営協力を行っています。
- 令和6年9月7日に実施したフォローアップ研修会では「水災害」をテーマに実施し、38名の防災士が参加しました。第1部では、河川洪水について学習し、第2部では、明治国際医療大学 木村教授の指導のもと、着衣状態でプールに入り、自分の命を守るための呼吸法「ういてまで」の実技訓練を行いました。

### 防災士フォローアップ研修会

実施日	令和6年9月7日(土)
実施場所	亀岡運動公園プール
参加者	38名(ネットワーク加入者数141名)
実施内容	(第1部) 座学 「河川洪水から命を守る」 (第2部) 実技 「浸水想定訓練」 ～もしも自宅が浸水したら?～ (協力機関) 明治国際医療大学 一般社団法人 水難学会



# 城陽市の取組状況について

## ■ 出前講座、防災学習会等を実施

活動報告

- 市では、主に防災ブックを活用した出前講座や、地域の皆さまや福祉施設などのご要望に応じた防災学習会等を実施し、本市のおかれている地理的状況や、災害に対する備えなどについて、啓発活動に取り組んでいます。
- 令和6年度は、出前講座を11回、防災学習会を6回実施しました。



# 向日市の取組状況について

## ■ 出前授業の実施

活動報告

- 市内の小学校及び高等学校において、向日市の防災についての出前授業や自治会向けに出前講座を行いました。

### <出前授業参加人数>

令和6年	357名
令和5年	521名

### 能登半島地震報告(出前授業)



### 出前講座



### 向日市の防災について



# 長岡京市の取組状況について(1/2)

## ■ワンコイン浸水センサー実証実験

活動報告

- 市内の浸水発生箇所や水路の水位上昇時に影響が大きい箇所となる18箇所に、30台のワンコイン浸水センサーを設置
- ワンコイン浸水センサーと市内独自システムを統合し、市内の浸水状況を瞬時に把握
- ワンコイン浸水センサー反応時の職員の初動基準を作成



図 センサー外観



図 R2.8.22大雨時

図 センサー設置状況

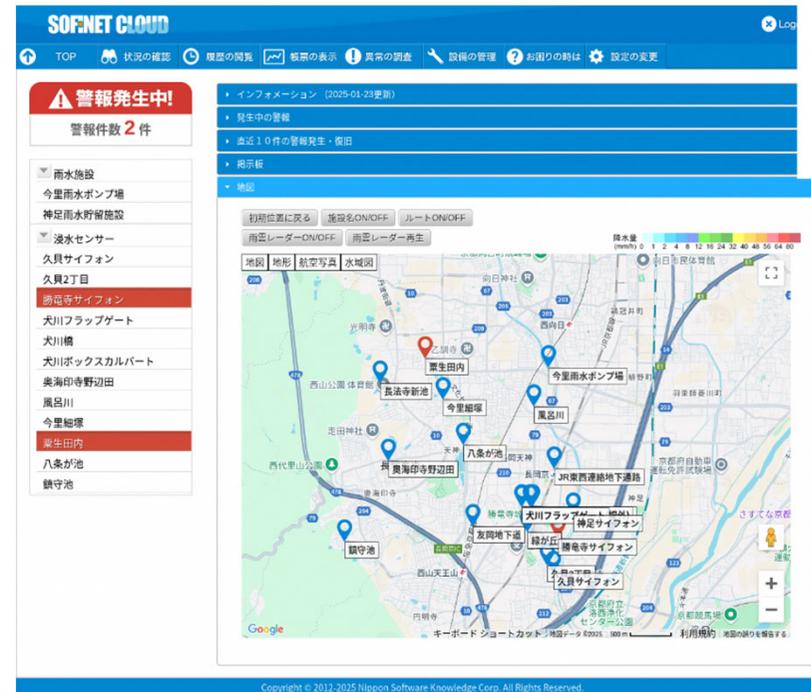


図 システム監視画面

表 センサー反応時の初動基準

NO	設置場所：詳細	緯度 (10進数表記)	経度 (10進数表記)	地表面からの 高さ (cm)	設置箇所	担当課	観測開始日	センサー感知時の対応
9	京都府長岡京市神足2丁目	34.919125	135.697862	-37	大川橋	道路・河川課	2024/6/18 0:00	水位を注視
15				0				溢水直前の水位。現地を確認し、必要に応じて土嚢を設置

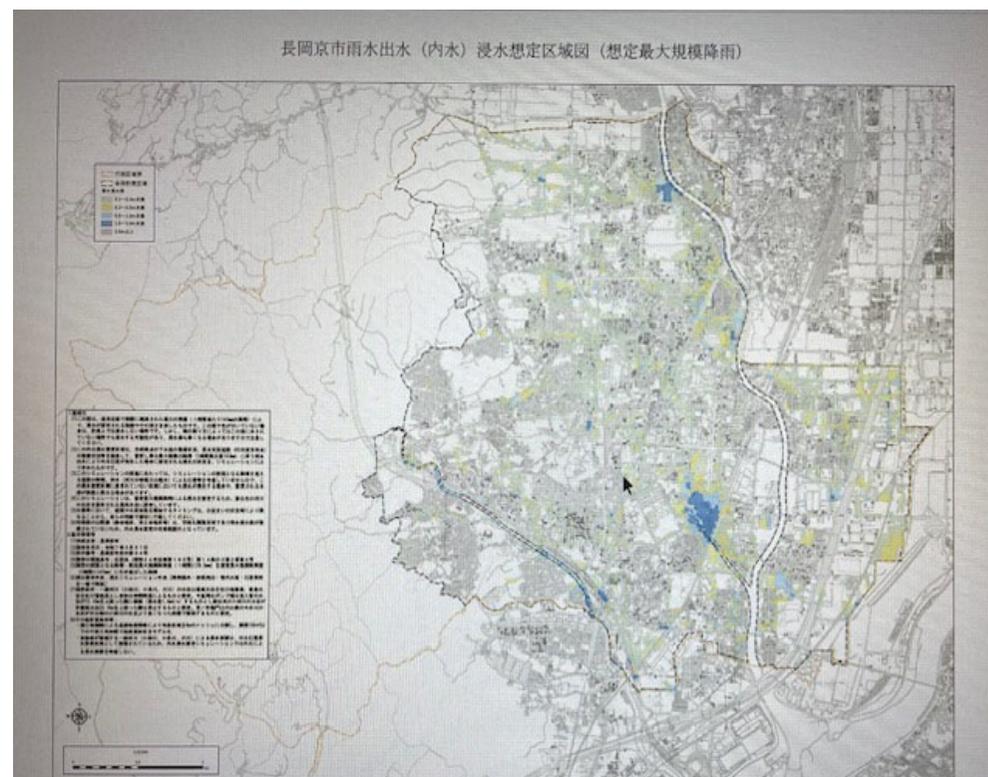
## ■ハザードマップの更新時に「雨水出水(内水)浸水想定区域」を指定

活動報告

- 令和7年3月にハザードマップを更新(前回作成:令和元年5月)
  - 更新に伴い、水防法に基づく「雨水出水(内水)浸水想定区域」を指定
    - ・ 想定最大規模降雨により雨水を排除できなくなった場合の区域を指定
    - ・ 浸水区域・浸水深・浸水継続時間を明記
- ※近畿圏内においての最大降雨量=1時間当たり147mm(想定最大規模)

### 基本事項等

- ①作成主体 : 長岡京市
- ②指定年月日 : 令和7年3月31日
- ③告示番号 : 長岡京市告示第34号
- ④指定の根拠法令 : 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項第4号
- ⑤指定の前提となる降雨 : 長岡京市の既往最大規模降雨量(1時間に76.5mm)を想定最大規模降雨量(1時間に147mm)に引き伸ばした降雨
- ⑥浸水想定手法 : 降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で浸水シミュレーションを実施
- ⑦境界条件 : 一級河川の水位は最高水位を吐口地盤高、最低水位を吐口管底高とし波形は時間雨量によるものと設定。今里雨水ポンプ場及び更ノ町樋門はそれぞれの稼働設定による。
- ⑧その他計算条件等 : 国土地理院による基盤地図情報により対象区域を5mのメッシュに分割し、面積100㎡以下の不定三角形網で地表面形状をモデル化

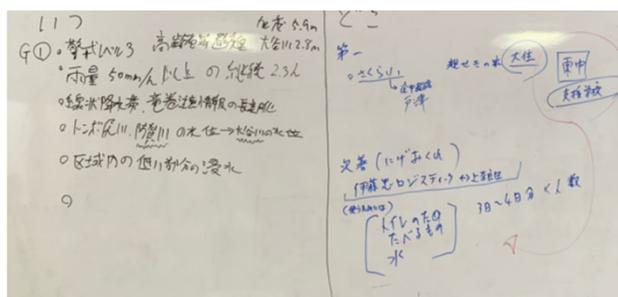
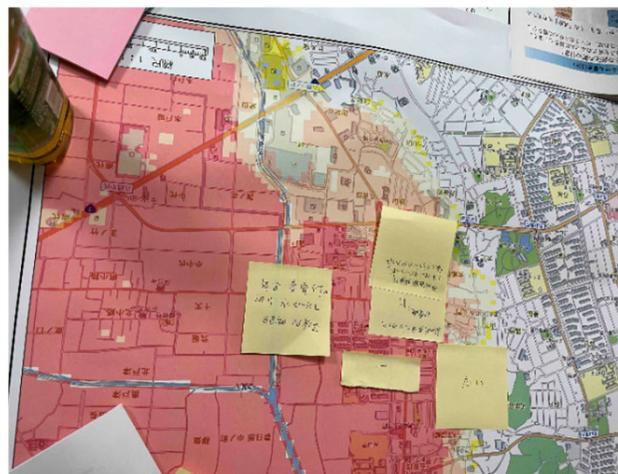


# 八幡市の取組状況について(1/3)

## ■水害等避難行動タイムラインの作成

●「水害等避難行動タイムライン」・・・京都府が府内の水害及び土砂災害の危険性がある地域の自主防災組織等に作成を推進しているタイムライン

- 出前講座等により、自治会ごとに「水害等避難行動タイムライン」作成のためのワークショップを実施しました。
- 令和6年度は、市内3地域において、計3回のワークショップを実施し、3つの自治会でタイムラインを作成しました。  
(これまでに浸水想定区域19の自治会中計14の自治会で作成済)



活動報告

時期	場所	内容
【浸水】 令和6年 7月 7日 令和6年 9月24日 令和6年11月17日	川口公会堂 中区公会堂 下奈良公会堂	木津川氾濫時に浸水の可能性がある地域及び土砂災害警戒区域等がある地域において、自治会の水害時における避難行動タイムライン作成のための説明会及びワークショップを実施

活動の効果

- 地域住民が水害について考えることによる避難行動への意識付け及び逃げ遅れへの対策
- 市内の浸水及び土砂災害の可能性のある他地域への波及
- 自治会等でのタイムライン作成により、個人のタイムライン「マイタイムライン」の作成推進につなげる

# 八幡市の取組状況について(2/3)

## ■ 京都府警及び自衛隊ヘリコプターによる本庁舎屋上への離着陸訓練等

活動報告

- 京都府警航空隊及び陸上自衛隊第3師団による本庁舎屋上へ離着陸訓練が行われ、上空からの視察を行いました。
  - 京都府警航空隊：令和5年度に引き続き2回目の離着陸訓練
  - 陸上自衛隊：初めての離着陸訓練



時期	場所	内容
令和6年5月24日	本庁舎屋上 かわきた運動公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京都府警航空隊及び八幡警察署と協同して木津川氾濫時に浸水の可能性がある地域及び土砂災害警戒区域等がある地域の上空からの視察を行った。</li> <li>○ 京都府警航空隊及び八幡警察署によるヘリコプターを使用した人員の救出訓練の現場視察を行った。</li> </ul>
令和6年11月26日	本庁舎屋上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 陸上自衛隊の中型ヘリコプターによる本庁舎屋上への離着陸訓練が行われるとともに、上空から浸水想定区域等の視察を行った。</li> </ul>

活動の効果

- 自衛隊及び京都府警との災害時における活動についての連携を図ることができた。
- 市内の浸水及び土砂災害の可能性がある地域を俯瞰的に確認することができた。
- 陸上自衛隊ヘリコプターが本庁舎屋上の場外離着陸場に安全確実に着陸できることが確認できた。

# 八幡市の取組状況について(3/3)

## ■トイレカーの導入

活動報告

●令和6年10月にトイレカーを導入しました。

災害発生時に迅速に対応し、避難所の衛生環境を向上させるために導入しました。

購入にあたっては、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施し、多くの方からのご支援をいただきました。



時期	場所	内容
令和6年10月	八幡市役所	<p>トイレカーを導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 簡易水洗、洗浄式暖房便座を装備し快適</li> <li>○ 洋式便座×4、小便器×1、トイレカー後部には多機能トイレ一式を装備し、車いすの人も使用可能</li> <li>○ 貯水量は約700ℓ、便槽タンクは約960ℓで一度の給水で約400回使用可能</li> </ul>

活動の効果

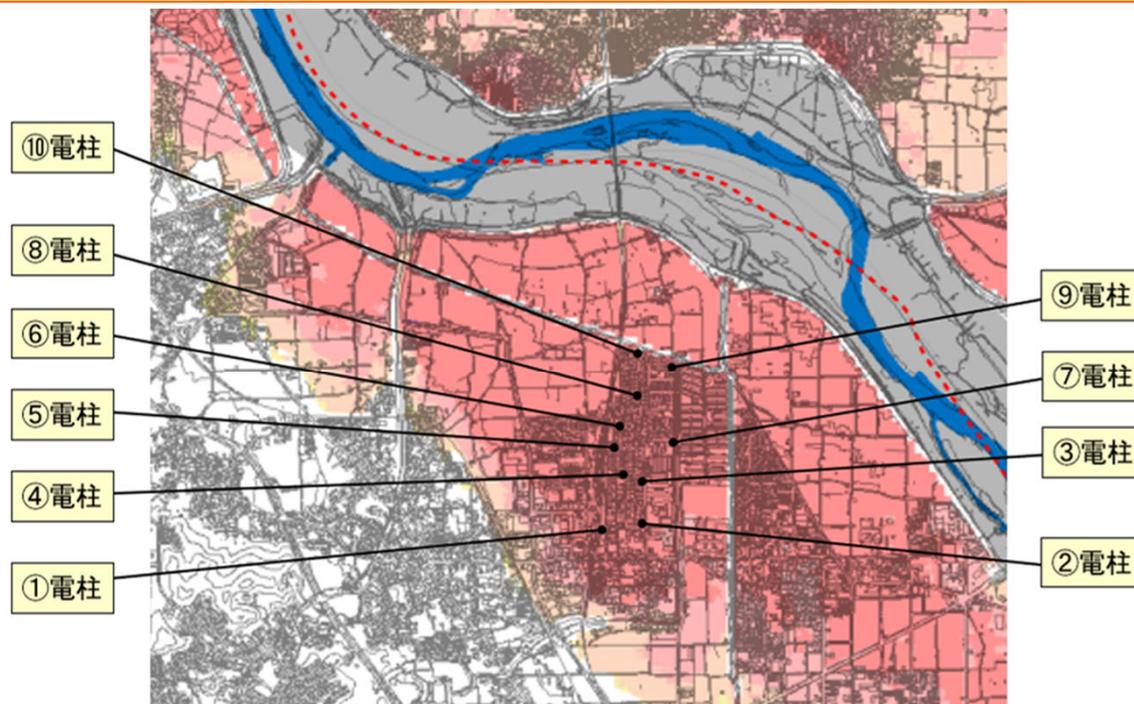
- 災害時等においても快適に使える。
- 避難所等のスペースに設置でき、すぐに使える。
- 停電時においても長時間にわたり使える。
- 平時においては、イベントなどで使える。

# 京田辺市の取組状況について(1/2)

## ■まるごとまちごとハザードマップの設置

活動報告

- 近鉄新田辺駅東側周辺の10箇所を設置。  
これにより、市内設置箇所が計33箇所が増加。
- 今回の設置箇所は浸水リスクの高い場所であり、周辺住民へ地域の水害リスクを周知することで、防災意識の向上及び早期の避難行動につなげる。



### 市内全設置箇所 内訳

- ・電柱:24箇所
- ・小中学校:3箇所
- ・公民館周辺:3箇所
- ・住民センター:1箇所
- ・公園内柱:1箇所
- ・駐輪場:1箇所

# 京田辺市の取組状況について(2/2)

## ■出前講座による防災意識の啓発・向上

報  
告  
活  
動

- 市職員が講師となり、ハザードマップの説明等の防災に関する講座を行った。
- 令和6年度は、市内12地域・団体に対して、計13回の講座を実施した。

### ○令和6年度の出前講座

月日	受講団体	参加人数
5月16日	大住中学校2年生	231
5月23日	まちづくり市民ねっと京田辺	13
6月21日	松井山手民生児童委員協議会	22
6月23日	サンメゾン京田辺駅前 ユニハイム管理組合	14
9月24日	江津和光会	29
9月26日	大住民生児童委員協議会	25
10月1日	大住小学校4年生	34
11月16日	エクセルハイツ新田辺	16
11月22日	松井山手民生児童委員協議会	18
11月23日	アカデミア	13

月日	受講団体	参加人数
11月23日	河原区	21
1月20日	社会福祉協議会	60
2月3日	京田辺を知りたい市民会	7



# 南丹市の取組状況について(1/3)

## ■タイムラインの作成講習

報告動

- 令和6年4月－6月に、自主防災組織代表者宛に「(災害・避難カード)の作成及び提出について」を送付し、水害等避難の行動タイムラインの作成を促しました。

期日	場 所	内 容
5年11月18日	南丹市役所 美山支所 1階 大会議室	住民避難が円滑に行われるようにする きっかけの1つとして「タイムライン」の作成 及び活用を市民の皆様にご提供いただき、 防災意識の高揚を図った。
5年11月19日	南丹市役所 本庁2号庁舎	
		
6年4月-6月		令和5年度において実施した「タイムライン」の作成についてを再 度活用し、防災意識の高揚を図った。
7年度		令和7年度においては、ハザードマップから各地区の水害及び土 砂災害の状況にそったタイムラインを市が作成配布し、確認を求め る方法(案)をとる方向で検討中です。

## ■防災関連行事 実績(6年度上半期)

防災会議資料

報告  
活動

- 防災訓練(出水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認)  
14団体/28団体 50%(半分の自主防災組織が実施)。

連番	自主防災組織名	連番	自主防災組織名
1	新堂区防災委員会	15	中世木自主防災協力隊
2	黒田区自主防災会	16	殿田消防協力隊
3	穴人区自主防災会	17	生畑区自主防災会
4	小山西町区自主防災会	18	上保野田消防協力隊
5	横田区防災委員会	19	和田ふるさとレスキュー隊
6	小山東町自主防災組織	20	彰徳自主防災会
7	千妻区自主防災会	21	志和賀自主消防協力隊
8	木崎町区自主防災会	22	上胡麻消防協力隊
9	園部町大西区自主防災会	23	知井地区消防協力隊
10	南地区自主防災会	24	宮島地区自衛消防隊
11	八木町北地区自主防災会	25	平屋ふるさとレスキュー隊
12	西胡麻区消防協力隊	26	鶴ヶ岡ふるさとレスキュー隊
13	東胡麻消防協力隊	27	口人区自主防災会
14	新シ区防災協力会	28	八木町神吉地区自主防災会

● 防災訓練

南丹市全体行政区47区／185区 25% (自主防災組織率:101/185 55%)

行政区	水害	土砂	自主防災組織
宮町	○	×	
上本町	○	×	
本町	○	×	
若松町	○	×	
新町	○	○	
小山東町	○	○	小山東町自主防災組織
市宮向河原団地	○	○	
府宮向河原団地	○	○	
小山西町	×	○	小山西町区自主防災会
栄町	×	○	
美園町	×	○	
小椋町	×	○	
城南町	×	○	
横田	○	×	横田区防災委員会
黒田	○	○	黒田区自主防災会
上木崎町	○	○	
河原町	○	○	
木崎町	○	×	木崎町区自主防災会
内林町	○	○	
瓜生野	○	○	
熊崎	○	○	
新堂	○	○	新堂区防災委員会
千妻	○	○	千妻区自主防災会
曾我谷	○	○	
船岡	○	○	
高屋	○	○	
大戸	○	○	
熊原	○	○	
佐切	○	○	
越方	○	○	
竹井	○	○	
仁江	○	○	
船阪	○	○	
大西	○	○	園部町大西区自主防災会
宍人	○	○	宍人区自主防災会
半田	○	○	
口人	○	○	口人区自主防災会
口司	○	○	
殿谷	○	○	
埴生	○	○	
南八田	○	○	
天引	○	○	
法京	×	○	
大河内	×	○	
南大谷	○	○	
若森	○	○	

行政区	水害	土砂	自主防災組織
本町1丁目	○	×	
本町2丁目	○	×	
本町3丁目	○	×	
本町4丁目	○	×	
本町5丁目	○	×	
本町6丁目	○	×	
栄町1丁目	○	×	
栄町2丁目	○	×	南地区自主防災会
栄町3丁目	○	×	
本郷東	○	×	
本郷西	○	○	
本郷南	○	×	
本郷北	○	×	
垣内	○	×	
柴山	○	○	
青戸	○	○	
西田	○	○	
井ノ尻	○	×	
観音寺	○	○	
屋賀	○	○	
屋賀上	○	×	
北屋賀	○	○	
氷所	○	○	
日置	○	○	
刑部	○	○	
北広瀬	○	○	
鳥羽	○	○	
美里	○	○	
室河原	○	○	
木原	○	○	
池ノ内	×	○	
玉ノ井	○	○	
八木嶋	○	○	
大藪	○	×	
折戸	○	×	
南広瀬	○	×	
船枝	○	○	
山室	○	○	八木町北地区自主防災会
室橋	○	○	
諸畑	○	○	
野条	○	○	
池上	○	○	
神吉上	×	○	八木町神吉地区自主防災会
神吉下	×	○	
神吉和田	×	○	

行政区	水害	土砂	自主防災組織
殿田(上)	○	○	殿田消防協力隊
殿田(下)	○	○	
木住	×	○	
生畑	×	○	生畑区自主防災会
中世木	×	○	中世木自主防災協力隊
東雲	○	○	
片野	○	○	
ヴェル	△	△	
ビューヴィ	△	△	
レッジ	△	△	
片野団地	△	△	
新シ	○	○	(田原) 新シ区防災協力会
和田	○	○	和田ふるさとレスキュー隊
興風	○	○	
彰徳	×	○	彰徳自主防災会
吉野辺	○	○	
中組	○	○	四ツ谷
海老谷	○	×	
東組	○	○	
下佐々江	○	○	佐々江
中佐々江	○	○	
上佐々江	○	○	
西胡麻駅前	×	×	
栗ヶ丘	×	○	
角本	×	×	
中村	○	×	
中野辺	×	×	西胡麻 西胡麻区消防協力隊
イングランド	△	△	
ドヒルズ	△	△	
新町	×	○	
後野	×	○	
日吉平	×	○	
胡麻荘園	×	×	
東胡麻	×	○	東胡麻消防協力隊
上胡麻	×	○	上胡麻消防協力隊
広野	×	○	
畑郷	×	○	
上保野田	×	○	上保野田消防協力隊
下保野田	×	○	
志和賀	×	○	志和賀自主消防協力隊

行政区	水害	土砂	自主防災組織
南	×	○	
北	×	○	
中	×	○	
河内谷	×	○	
下	×	○	
知見	×	○	知井地区消防協力隊
江和	×	○	
田歌	×	○	
芦生	×	○	
白石	×	○	
佐々里	×	○	
又林	×	○	
下平屋	×	○	
上平屋	×	○	
安掛	×	○	
野添	×	○	平屋ふるさとレスキュー隊
長尾	×	○	
深見	×	○	
荒倉	×	○	
大内	×	○	
内久保	×	○	
原	×	○	
板橋	×	○	
宮脇	×	○	
下吉田	×	○	
島	×	○	宮島地区自衛消防隊
長谷	×	○	
上司	×	○	
和泉	○	○	
静原	○	○	
今宮	○	○	
栃原	○	○	
砂木	○	○	
棚	○	○	
川合	○	○	
殿	○	○	
舟津	○	○	
松尾	×	○	
神谷	×	○	鶴ヶ岡ふるさとレスキュー隊
名島	×	○	
洞	×	○	
田土	○	○	
上吉田	○	○	
林	×	○	
庄田	×	○	
脇	×	○	
熊壁	×	○	
山森	×	○	

菅野	×	○
大野	×	○
川谷	×	○
岩江戸	×	○
脇谷	×	○
小淵	×	○
向山	×	○
樫原	×	○
菅海	×	○

# 木津川市の取組状況について

## ■ 地域防災リーダーによるマイタイムラインの作成支援(指導)体制の構築

- **目的** 地域防災力の向上
- **開始** 令和4年6月1日に「木津川市地域防災リーダー」制度創設

活動報告

- **経緯** 地区タイムラインの作成が一定進捗したことから、マイタイムラインの作成に随時移行中
- **木津川市地域防災リーダーの役割** 自主防災組織等との連携の他に、マイタイムライン作成支援(指導)としての役割を付加
- **現状** 令和6年度末現在で、76名が木津川市地域防災リーダーに登録  
淀川河川事務所の支援を受けて実施した「マイタイムライン作成講習会」を受講した木津川市地域防災リーダーが、自主防災会等と連携しマイタイムライン普及に向けた講習会での作成支援に取り組んでいます。



**令和6年度 木津川市地域防災リーダーによる作成講習会**  
開催回数: 6回  
約100名がマイタイムラインを作成

淀川河川事務所による「マイタイムライン」作成講習

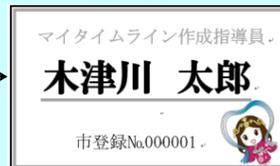
活動の効果

- 地域の自主防災組織と防災リーダー、防災士との顔合わせができ、今後の連携につながった。
- 「マイタイムライン」作成要領を体験し、今後、地域での普及を期待できる。

現在37名  
作成支援員  
(ブルー)



現在1名  
作成指導員  
(シルバー)



作成マネージャー  
(ゴールド)



## 令和6年度防災伝道師養成講座

活動報告

- 本町では、防災に関する一般的な知識を習得し、「自助」「共助」の重要性を地域に広め、広く防災活動の活性化に寄与する人材として、「防災伝道師」を養成する講座を実施。

時期	場所	内容
令和6年11月16日 令和6年11月30日	大山崎町立中央公民館	<p>(主な講義内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所による講義 →水害の脅威や、防災対策についての講義を実施</li> <li>・日本防災士会京都府支部による講義 →水害対象地区ごとに、地図を使用した地域の危険箇所や避難場所等の確認 →水害、土砂災害の避難情報が発令された際の避難行動のための「災害・避難カード」を作成</li> </ul>



# 久御山町の取組状況について(1/2)

## ■まるごとまちごとハザードマップの作成

活動報告

- 本町は、木津川、宇治川、桂川に挟まれた山城盆地の低い場所にあり、町内のほぼ全域が浸水想定区域内となっていることから、住民の方に水害の意識を常日頃から持ってもらうために、まるごとまちごとハザードマップの設置促進を図っている。
- 現在は公共施設をはじめ、自治会等の要望により集会所等、住民の目にとまる場所など計44カ所に設置している。



## ■タイムラインの作成について

活動報告

- 自治会や自主防災会のリーダーを対象に、自主防災リーダー研修会を実施し、防災士の方等を招いて、水害等避難行動タイムラインや「災害・避難カード」の作成方法等について説明しました。



# 井手町の取組状況について

## ■井手町防災ハザードマップの更新

活動報告

- 井手町では本庁舎の移転や防災行政無線の導入、既存情報の更新を踏まえ、既存の水害及び地震のハザードマップを一冊にまとめた新しいハザードマップを作製しました。
- 今年度(令和7年度)以降、本ハザードマップを活用し、自治会や個人のタイムラインの作成支援や個別避難計画の作成促進を進める予定としています。



**マイ・タイムラインを作ろう**

警戒レベル	取るべき行動	避難情報	大雨気象情報	河川情報
警戒レベル1	災害への心構えを高める。	早期注意情報	大雨	氾濫注意情報
警戒レベル2	ハザードマップ等で自らの避難行動を確認。	・洪水注意情報 ・大雨注意情報	大雨・洪水注意情報	氾濫注意情報
警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難!	高齢者等避難	大雨洪水警戒情報	氾濫警戒情報
警戒レベル4	危険な場所から全員避難! 警戒レベル4までに必ず避難完了!	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
警戒レベル5	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保	大雨特別警戒情報	氾濫発生情報

名前		家族構成	
誰が、どのような行動をするか			
警戒レベル1	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名
警戒レベル2	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名
警戒レベル3	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名
警戒レベル4	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名	住所 氏名 氏名

**周囲の状況 (雨の強さと降り方)**

- 晴れ・曇り・小雨
- 強い雨 (1時間に20~30mm未満)
- 激しい雨 (1時間に30~50mm未満)
- 非常に激しい雨 (1時間に50~80mm未満)
- 猛烈な雨 (1時間に80mm以上)

避難する場所

- 
- 

(出典:防災庁)

# 宇治田原町の取組状況について

## 令和6年度の取組

活動報告

- 災害伝承語り部の京英次郎氏を講師とした防災講演会を実施し、町議会、自主防災組織、消防団など約50人が参加しました。  
【防災意識向上プロジェクト(消防庁事業)】  
時期:令和7年2月16日 場所:宇治田原町総合文化センター
- 日本赤十字社京都府支部、城南衛生管理組合、株式会社ニチダイと災害応援協定を締結しました。
- 自主防災組織安心安全活動補助金(防災訓練の実施等にかかる費用の一部補助)や、自主防災訓練に参加し防災講話の実施等、自主防災組織への継続支援を実施しました。



防災講演会

活動の効果

- 東日本大震災で被災された経験等を交えた講演を聴き、被災時、他人を守るためにもまずは自分の身を守る事、発災時の具体的な行動イメージを普段から持つことの大切さなど、防災・減災の心構えについて学びました。
- 携帯トイレをはじめとする各物資を備蓄した倉庫の設置や、大規模停電時における電力提供、災害時における施設使用に関する協定締結により、災害時の備えを強化しました。
- 自主防災組織の防災力強化に繋がりました。

## 令和7年度の取組

活動予定

- 大規模災害時における避難所の生活環境改善のため、備蓄倉庫やパーティションテント、簡易ベッド、段ボールベッド、可搬型冷風機を各避難所に整備します。
- 防災機能を備えた宇治田原中央公園を会場に、他防災機関等と連携した町総合防災訓練を実施します。

# 笠置町の取組状況について

## ■まるごとまちごとハザードマップの設置

活動報告

- 笠置町ではこれまで、4箇所にもるまちハザードマップの設置をしてきましたが、令和6年度において新たに笠置保育所にまるまちハザードマップの設置を実施しました。
- まるまちハザードマップの設置にあたり、除幕式を開催し、町長、保育所長をはじめとした関係者の皆様に参加いただきました。



除幕式  
令和7年2月5日(水)  
笠置保育所前



# 和東町の取組状況について

## ■ 自主防災組織を対象とした研修会

活動報告

- 昨年に自主防災組織の住民を対象とした災害時に際して、家庭でできる防災対策についての説明を実施しました。これをきっかけに住民の防災意識の向上や、災害時の的確な避難行動につなげていきたいと考えています。



## ■ 和東町防災パトロール

活動報告

- 毎年6月に京都府や警察、消防等各関係機関の参加のもと、防災パトロールを実施しています。
- 災害時に各関係機関が連携して、適切な対応を図れるように、土砂災害警戒区域や、和東川の河床上昇による浸水被害想定の特検・確認や情報共有を行います。



## ■ 地域防災計画の修正

活動報告

- 新たに改正された法律等や京都府地域防災計画との整合を図った上で、防災関係機関、防災会議委員の意見や大規模災害の教訓等を反映し、和東町地域防災計画の修正を行い、水害対策についても見直しを行いました。

# 精華町の取組状況について(1/2)

## ■「マイ防災マップ」の作成

活動報告

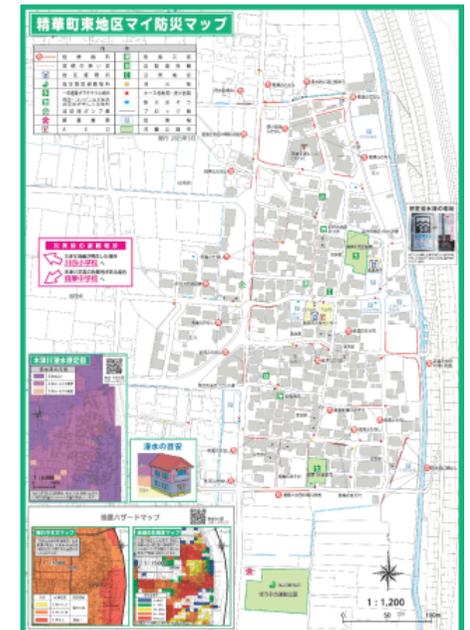
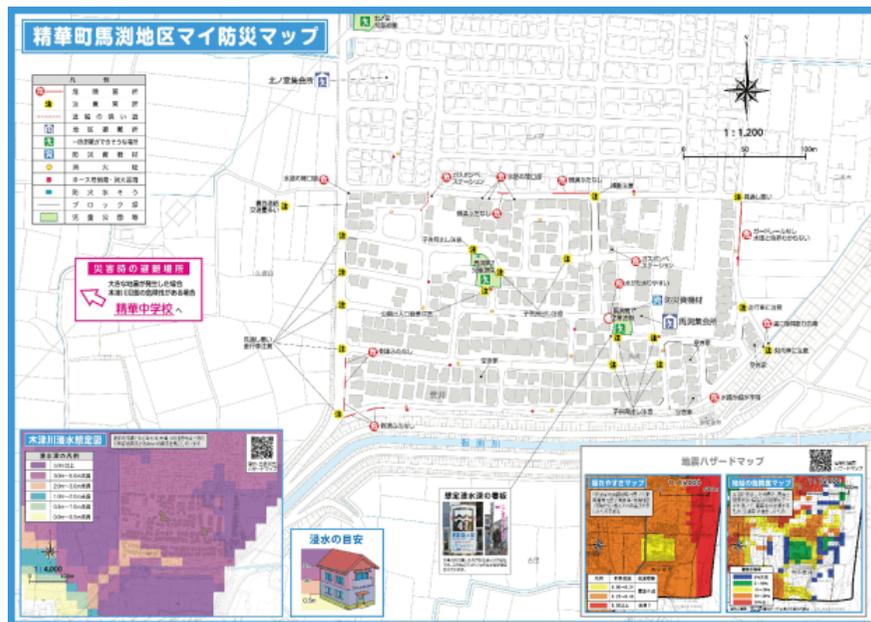
- 住民説明会及びまち歩き
  - ・マイ防災マップの作成趣旨、活用方法等を説明
  - ・地域の自主防災会を中心に、住んでいる地域の危険箇所を実際に歩いて確認
- 裏面に「わが家のマイタイムライン」「わが家の防災メモ」の書き込み欄を作成
  - ・災害時の安全な避難のタイミングに関する情報等について、二次元コードと併せて掲載
  - ・平時からの備えについて、非常用持ち出し品や備蓄品を掲載

令和5年度までに作成済

11地区(浸水想定地区10地区、土砂災害警戒地区1地区)

令和6年度 実施地区

2地区(東、馬淵)



# 精華町の取組状況について(2/2)

## ■まるごとまちごとハザードマップ

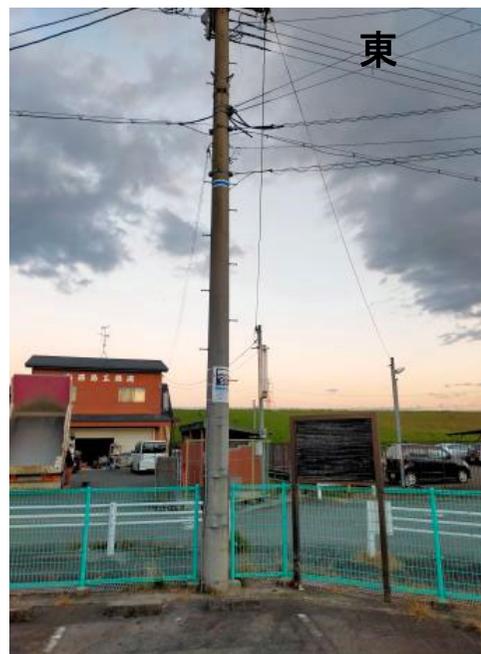
活動報告

- 木津川浸水想定地域の行政区ごとに、浸水ハザードマップの更なる普及浸透、危機意識の醸成、避難所等の認知度等の向上のため、「マイ防災マップ」を作成するとともに「まるごとまちごとハザードマップ」の標識板設置を実施しました。
- 浸水想定地域のなかでも災害リスクの多い地域から順に設置し、対象地区の住民が目につきやすい地区集会所付近において設置を目指します。

令和6年度までの設置数	3地区(祝園西一丁目、南、中)
令和6年度 設置数	3地区(菱田、東、馬淵)
未設置地区	9地区(中久保田、滝ノ鼻、舟、僧坊、里、西北、北稻八間、北ノ堂、菅井)



設置見本



# 南山城村の取組状況について

## ■ 各種イベントを通じた防災意識社会の醸成

活動報告

- 南山城村と自主防災組織、消防団が主催する「防災フェスタ」の開催による防災啓発
- 社会福祉協議会で開催された「ご近所支え合い講座」での防災情報や対策の住民向け発信



2024  
南山城村防災フェスタ

令和6年12月14日(土)  
12時30分～15時30分  
場所：やまなみホール周辺

はしご車登場予定！！  
今年は炊き出し等による「飲食ブース」も設置します

<p>やまなみホール(ステージ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★オープニングステージ 東宇治高校吹奏楽部</li> <li>★防災講演 京都府災害対策課</li> </ul>	<p>やまなみホールホワイエ(物品展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ドローン展示</li> <li>★防災用品展示 ★非常食の配布</li> </ul>
--	---

<p>やまなみホール駐車場(体験・車両展示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★起震車体験 ★消防車両、自衛隊車両等展示</li> <li>★消火器操作体験 ★自衛隊等装備品展示 ★放水体験</li> </ul>	<p>やまなみホール前スロープ(飲食)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★災害食の炊き出し ★キッチンカー</li> </ul>
---	---

みんなで支え・助け合い、地域の安心・安全を守るためには  
自助、共助、公助の取り組みを推進し、誰もが災害について学び  
大地震など、もしもの災害に備えることが大切です  
防災フェスタでは、自助や共助について地域全体で考える場とします

主催：南山城村・南山城村自主防災組織連絡協議会・南山城村消防団  
協力：京都府災害対策課・陸上自衛隊大久保駐屯地・相楽中部消防組合消防本部・  
南山城村社会福祉協議会・中央商工(株)

お問い合わせ：南山城村総務財政課 ☎0743-93-0102  
※気象状況や災害等の発生状況によって中止若しくは、一部中止などイベント内容の変更が生じる場合があります



- 様々な防災関係者や地域住民が防災学習や防災に関するイベントを通じて、それぞれの立場や役割、対応方法を学ぶことで自助の意識の構築に努めた。
- 社協の支え合い講座では、福祉的配慮が必要な方を支える地域のステークホルダー的存在への防災意識の醸成や、現に支えられる方に対しても意識醸成が行えた。